

## 甲賀市における新たな子ども・子育て支援のあり方（中間報告）

平成 29 年 11 月 13 日

甲賀市子ども・子育て応援連携プロジェクト会議

## 1. はじめに

子どもを取り巻く環境は大変厳しいものがあり、2016年に厚生労働省がまとめた報告書によると、日本の子どもの貧困率は13.9%となり、子どもの約7人に1人が貧困状態にあると示している。この経済格差が子どもの教育環境を奪うだけでなく、社会体験や人間関係の構築を奪うこととなり、そのことが、子どもたちが、将来に夢を抱いたとしても、あきらめざる得ない現状を生み出している。

このような状況の中でも、甲賀市のすべての子どもたちが、夢を追い続けながら健やかに育ち、また、子育て世代の皆さんが「甲賀市」で子育てをしたいと感じてもらえるような子ども・子育て支援策を検討し、その結果を「甲賀市における新たな子ども・子育て支援のあり方（中間報告）」として、取りまとめたものを報告する。

## 2. 子ども・子育て支援策の現状と課題

(1) 小中学生とその保護者への支援策の不足

子どもや保護者が抱える課題は子どもの年齢とともに増してくるが、実施されている子ども・子育て支援策は、産後から3年ぐらいに多く集中しており、子どもの年齢が増すごとに薄れていくと思われる。

(2) 現状の子育て支援策への子育て世代の不満

子ども・子育て支援策は、保護者の所得など制限を受けることが多く、すべての子ども、保護者が対象にならないことが多くある。また、支援策の対象になる方へ情報提供が不足しており、本来利用できる方に情報が届かず、使われていないもったいなさがある。

(3) 子ども・保護者の実態把握の不足

子どもや保護者の中には、課題を抱えているにも関わらず、把握されないケースがある。また、支援策の対象となる子どもや保護者の声が聞けていないケースがあり、実施している支援策の効果や実態が測られていない。

(4) 地域、民間の子育て支援への積極的な関わりの不足

子ども・子育て支援は行政だけで実施することは難しい状況がある。広く市民のみなさんに子育て支援に取り組んでいくことを周知することと併せて、積極的に保護者同士、地域内で支えあう仕組みや民間の協力を得ながら進める必要がある。

### (5) 安全・安心に遊べる場所の不足

身近な地域において、子どもが遊べる場所や子どもの居場所が不足している。乳幼児から中高生まで年齢別に合わせた、安全・安心に遊べる場所や居場所をハード面、ソフト面から整備する必要がある。

### (6) 経済的な理由によるサービスの受益の格差

経済的なことを理由に本来子どもが受けるべきサービスを諦めざる得ない現状がある。このことが、子どもの健康等に影響を及ぼすこともある。

## 3. 事業の方向性

- (1) 積極的に子ども・子育て支援に取り組むことを広く市民に知らせること。
- (2) すべての子どもとその保護者がニーズに応じて等しく子育て支援を受けられるようにすること。
- (3) 子どもやその保護者の声を反映できるようにすること。
- (4) 地域、企業、各種団体等が積極的に子ども・子育て支援に取り組むこと。
- (5) 子どもたちへ安全・安心な遊び場、居場所を確保すること。

## 4. 具体的な事業

- (1) 子ども・子育てを応援する意思表示  
甲賀市が積極的に子ども・子育て支援に取り組むことを広く周知するために、子育て応援宣言や子育て応援条例の制定を実施する。
- (2) 子育て世代への経済的支援
  - ・ 甲賀市のすべての子どもが健康で健やかに育つように、予防接種（インフルエンザ等）への補助や医療機関において接種しやすい環境を整える。
  - ・ 様々な子ども・子育て支援サービスの無料クーポン券の配布を行い、サービスの周知と合わせて、利用の促進を行う。
- (3) 子ども・子育て世代の実態調査
  - ・ 子ども・子育て事業の進捗状況の把握と事業内容に子育て世代の声を反映させるため、子育て世代への実態調査を行う。
  - ・ 子どもたちの声を子ども・子育て事業に反映させるために、市内の小中高生の声を聞き取る調査を行う。

(4) 地域、企業、各種団体等へ支援

- 行政だけではなく、オール甲賀で子ども・子育て支援を行うため、地域、企業、各種団体等が市内で実施する子ども・子育て支援事業への新たな補助支援制度を設ける。

(5) 子どもたちの遊び場、居場所の確保

- 身近な地域で子どもとその保護者が遊べるように、ハード面としての児童遊園の整備と併せて、遊びのレクチャーができる専門職を配置する。
- 市内の商業施設や公共施設を活用して、安全・安心に中高生が自由来館できるフリースペースを確保する。
- 地域の社会資源や人材を活用しながら、子ども同士や地域の大人と子どもがつながる場づくりを行う。

5. おわりに

甲賀市内のすべての子どもたちが、健やかに育つことは、すべての大人の願いである。甲賀市や他の市町を含め、一般的な子どもとその保護者の置かれている状況を踏まえながら、課題を解決するために、早急に取り組むべき事業として、支援策をまとめた。

今後は、さらに市の実態の分析を進め、短期的、長期的に取り組むべき、甲賀市にあった新たな子ども・子育て支援策を検討して行く。